

『ホテル&クリニック併設の“170 億円新天地”を見学しませんか！！』

洋友群馬 会長 奥山

新型コロナ感染の第5波が一段落し経済活動が少しずつ再開されようとしています。

皆様にはお元気で過ごしのことと推察いたします。

さて我らがワイルドナイツはトップリーグの最終ステージを目出度く優勝で終えることが出来ました。

2022年1月7日からは新リーグジャパン・ラグビー・リーグワンが開幕します。

この開幕に先立って我らがワイルドナイツは埼玉県営熊谷ラグビー場に隣接する地に新たに専用グラウンドとクラブハウスを使つての練習を再開し、リーグワンでの初代王者を目指しています。

ワイルドナイツはクラブハウス等賃料を埼玉県の協会に支払うことになるが、これらの施設に色んな企業が参入します。これらの企業はワイルドナイツのスポンサーになってくれる方向です。その結果、賃料とスポンサー料が相殺される見込みとのこと。リーグワンではホストスタジアムが活動拠点になり、必須の施設ですが、多くのチームではこのホストスタジアムの確保に苦労しています。

ワイルドナイツのホストスタジアムは各チームのモデルケースになっています。

新リーグが開幕する前にワイルドナイツのホストスタジアムを見学してみませんか！！

今回はクラブハウスや室内練習場等の内部も見学できる予定です。（通常見学できません）この施設の概要は次の通りです。

- ・延べ床面積 2000平方メートルのクラブハウス
- ・延べ床面積 700平方メートルの室内練習場
- ・練習用専用グラウンド
- ・今後造成するサブグラウンド
- ・外部に業務委託するホテル&クリニック

以上すべての投資金額は約170億円になるとのこと ・施設の背後に2万4000席の熊谷ラグビー場・関連記事を添付しておきますので参考にしてください。 → ホテル&クリニック併設の“170 億円新天地”

[パナソニックが目指す日本ラグビーの未来 \(THE ANSWER\) - Yahoo!ニュース](#)

見学会の内容

1. 日時：2021年10月27日14時から約一時間
2. 集合場所：上記クラブハウス入口に13時50分に集合現地集合、現地解散です。

『さくらオーバルフォート』は、ラグビーワールドカップ2019の会場となった熊谷ラグビー場に隣接したエリアに、(一社)埼玉県ラグビーフットボール協会が、公園の利便性向上やラグビー振興等に資することを目的に、公園の一部に施設の設置及びエリア全体の管理を行うことの許可を埼玉県から受けて建設したものです。



国内屈指の競技施設である熊谷ラグビー場に加え、今回新設された『さくらオーバルフォート』（管理棟、屋内運動場、グラウンド、宿泊棟）において、それぞれの事業者が新たな価値の創出を念頭に意欲的な活動を展開することで生まれる、「スポーツをする、観る」「泊まる」「食べる」「買う」「集う」「学ぶ」「創造する」等々の魅力的な機能を生かして、このエリアを活気と賑わいにあふれ、世界に発信できるラグビーパークとなることを目指しています。



この整備事業は、2019年3月に締結された地域振興等に関する協定<埼玉県・熊谷市・パナソニック（株）>に基づいて進められ、総工費は約34億9千万円、2020年8月に着工し2021年8月に完成しました。『さくらオーバルフォート』は、熊谷ラグビー場に隣接する約3万388平方メートル（9,201.5坪）の敷地に、同チームの管理棟・クラブハウス（延床面積：1,996.51平方メートル[604.5坪]）や宿泊棟（延床面積：6,027.74平方メートル[1,825.2坪]）、屋内運動場などが整備されました。

■『さくらオーバルフォート』の概要

『さくらオーバルフォート』の名称は、一般公募の中から熊谷市在住の高校生の提案が選定されました。「さ」は埼玉、「く」は熊谷、「ら」はラグビー、「オーバル」は楕円、「フォート」は砦という思いが込められています。

■『さくらオーバルフォート』の事業スキーム

施設は、埼玉県の設置管理許可を得た（一社）埼玉県ラグビーフットボール協会が建設・所有。施設管理の主体となって、管理棟（クラブハウス・屋内運動場）を同チーム・パナソニック（株）スポーツ事業センターに35年間の定期賃貸借契約で賃貸します。管理棟内の飲食店と宿泊棟は、当社の子会社であるパナソニックホームズ不動産（株）が一括借上げて各テナントへ転貸します。

#埼玉ワイルドナイツ

強化試合 第1戦

SQUAD

1 Sho Furuhata	2 Kazuma Shimane	3 Taiki Fujii	4 Tomohito Miyakawa	5 Esei Haangana
6 Masaki Toni	7 Juro Asanuma	8 Itsuki Onishi	9 Yuta Takagi	10 Eiji Kaneda
11 Iori Kaji	12 Tatsuki Tomuro	13 Tsubasa Arai	14 Yoshikazu Fujita	15 Yasutaka Sasakura

RESERVES

R Yuji Shinogama	R Hyugo Shimoda	R Yusuke Tokata
R Mark Abbott	R Atora Ikada	R Yuin Kwan
R Taichi Mizuma	R Suliasi Tohi	R Kotaro Yotabe
R Keisei Kasahara	R Tatsuhiko Tanji	R Kaki Takeyama